

★ 「未病 (ME-BYO) 改善」の取り組みを始めてみませんか! ?

ゴールデンウィーク初日の4月28日、神奈川県足柄上郡大井町に『未病バレー「ビオトピア」(me-byo valley “BIOTOPIA”)』が第1期オープンしました。場所は旧第一生命大井事業所の跡地で、現在はコーヒーの通信販売を手掛ける(株)ブルックスホールディングス大井事業所です。神奈川県が策定した「県西地域活性化プロジェクト」に基づいて同社と大井町、神奈川県の三者が協定を結び、ここに「未病改善」についての先進的な取り組みを発信する大型施設を誕生させました。ちなみに、施設のフルオープンは平成33年度以降、「BIOTOPIA」は「BIO (バイオ:生物、生命)」と「UTOPIA (ユートピア:理想郷)」の造語で、「いのち輝く理想的な里」を意味するようです。

そもそも「未病」とは、2千年以上前の中国における東洋医学の文献「黄帝内経」という書物に登場する言葉で、そこには「聖人は既病を治すのではなく、未病を治す」と記されています。「既病」とは既に発病している状態、「未病」とは病気が発症する前の状態のこと。一般的に「未病」は以下のように定義されています。

- ・発病には至らないものの軽い症状が見られる状態
- ・健康と病気の間を連続的に変化する状態

具体的には以下のような状態が「未病」といえるでしょう。

- ・健康診断等の検査数値が異常値ではないものの、許容範囲ギリギリである
- ・「夜、ぐっすり眠れない」「眼の下にクマができる」「手先や足先が冷える」といった何らかの不調を日常的に抱えている
- ・心身の不調で病院の診察を受けても原因がよく分からない

このような比較的軽微な兆候の段階で将来的な異常を見越し、それを改善して健康に導く活動が「未病改善」です。今回オープンした「ビオトピア」では、「食」「運動」「癒し」の3つをコンセプトに、子供から大人まで全世代が楽しく未病改善体験できるプログラムを提供しています。

(1) 自然の恵みが集まる「食」

「カラダとココロに優しい」をテーマに、新鮮な地元の食材を利用したレストランやカフェ、マルシェでの販売

(2) 身体を整える「運動」

神奈川県が運営する未病改善体験施設「me-byo エクスプラザ」で実際に体を動かすことで未病改善プログラムを体験し、楽しみながら生活習慣を見直すきっかけとする。その他、オール天然芝を利用した各種運動プログラムの提供

(3) 五感を開放する「癒し」

森林セラピー認定ロードとして、富士山や相模湾の雄大な眺望だけでなく、竹林での瞑想やアロマ等を取り入れた3つの遊歩道コースを設定

今年の2月17日、「未病の考え方などが重要になる」という表現とともに「未病」の定義が新たに盛り込まれた、「健康・医療戦略」が閣議決定されました。国の戦略に「未病」が位置づけられたのは今回が初めてのようなのですが、その目的は、超高齢社会を乗り越えて健康長寿社会を実現するため、医療費や介護費の伸びを抑えるためだけに留まらず、新たにヘルスケア産業を将来の成長産業として育てて行こうという意図も読み取ることができます。「未病」先進県の神奈川県では、早くから「未病」という概念を普及させることに力を入れ、平成26年6月には「ME-BYO」を商標登録しています。この商標を広報誌やパンフレット等に表示することで積極的にPRし、未病産業の商品やサービス(ME-BYOブランドとして認定を受けたものに限る)にも表示することでそのブランド化を図っています。さらに、このゴールデンウィークに開催された横浜開港記念みなと祭「ザよこはまパレード」には、「未病改善ヒーロー・ミビョーマン」なるリアルなキャラクターまで登場させました。その出で立ちは、写真で見ると限り「ミビョーマン」だけに非常にビミョーなもので、そのブランド価値が向上したかどうかは甚だ疑問ではありますが・・・(工藤克己)